



2025 年度

# JFA コース報告書



## JFA A 級ジェネラルコーチ養成講習会

報告者：岡野 義和 (吉城高等学校サッカー部 副顧問)

日程：前期 2025 年 5 月 12 日(月)～2025 年 5 月 16 日(金)

中期 2025 年 9 月 8 日(月)～2025 年 9 月 12 日(金)

後期 2025 年 12 月 8 日(月)～2025 年 12 月 12 日(金)

場所：静岡・時之栖 (裾野グラウンド・御殿場グラウンド)

チューター：城 和徳氏 石井 知幸氏 望月 聡氏

参加者：前期 23 名 中期 24 名 後期 24 名

補助選手：前期 びわこ成蹊スポーツ大学サッカー部

中期 静岡産業大学サッカー部

後期 中京大学サッカー部



### 【学習目的】

アマチュアトップレベルのチーム及び選手に質の高い指導ができる人材を養成すると同時に、地域・都道府県の指導者のリーダーとなる人材を養成する。

### 【学習内容】

講義	実技・指導実践	試験・課題
前期		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プレーモデル・GP</li> <li>・ ゲーム分析・プランニング</li> <li>・ コーチング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンディションチェック</li> <li>・ 指導実践①(TR 1 /TR2)</li> </ul>	<b>【事前課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分のプレーモデル</li> <li>・ 7トピックの指導案作成</li> <li>・ 自己分析シート</li> <li>・ 指導実践(Logbook 作成)</li> </ul>
中期		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フィジカルコンディション</li> <li>・ チームマネジメント</li> <li>・ セットプレー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導実践②(TR 1 /TR2/GAME)</li> <li>・ フィジカルコンディション実習</li> <li>・ プレゼン実習</li> </ul>	<b>【間の学習】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Logbook 作成</li> <li>・ プレゼン資料作成</li> </ul>
後期		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ナショナルコーチングスタッフ</li> <li>・ チームビルディング</li> <li>・ Emotions in Football</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導実践③(TR2/GAME)</li> </ul>	<b>【間の学習】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Logbook 作成</li> <li>・ 医学、栄養学、心理学 (オンライン講義)レポート作成</li> </ul> <b>【試験】</b> 口頭&筆記試験

### 【実技トピック】

- ①高い位置からの守備の改善 ②ビルドアップの改善 ③中盤でボールを奪う守備の改善
- ④中盤でボールを奪う守備に対する攻撃の改善 ⑤リトリートした守備の改善
- ⑥リトリートした守備に対する攻撃の改善 ⑦カウンターアタックの改善(自陣に引き込んでから)

### 【指導実践】

◎各トピックの指導実践の中で選手1人1人にタスクを与える。改善側のシステムは受講生の自由だが非改善側のシステムは1-4-4-2と固定である。

前期：TR1+TR2 25分 ディスカッション15分 監督・コーチ・GP コーチとして指導実践

中期：TR1+TR2+GAME 30分 ディスカッション15分 監督・コーチ・GP コーチとして指導実践

後期：TR2+GAME 20分 監督のみ

### 【学びと課題】

本講習会では、「オープンマインド」、「全員でつくり上げていく講習会」というキーワードのもと、ピッチ内外問わず、それぞれのサッカー観を議論し、プレーモデルの構築や意図的な戦術行動を落とし込む術を学んだ。7つのトピック理解から4局面やエリア別での戦術行動の落とし込み、非改善側の働きかけの重要性等も再認識できた。どのライセンスカテゴリーでも同じだが、「選手の納得感」を得られるようなタイムリーなコーチングやプレー時間の確保、GAME内でのプレーの再現性等も求められる。選手のレベルや年代によってはコーチングの伝える量も大切であると実感した。説明が長くなるとプレー時間や選手のモチベーションに関わってくることも学んだ。他の受講生のピッチ内外からの学びは大きく、「意図的な戦術行動の伝え方」や「コーチング」に関してそれぞれ個性があり勉強になった。監督、コーチ、GP コーチ役から、トレーニングの構築において3人のリレーションシップの重要性も学んだ。サッカーに最適解はあるかもしれないが明確な答えはなく、常に学ぶ姿勢を持ち続けたい。

3期にわたる講習会で学んだことを自チームへ持ち帰り、日常で指導していくことが結果的に自分自身の糧にもなるため、どの種別であっても自分が主で指導できる環境に身を置いていることがとても重要であると実感した。

最後に、県内トライアル、東海トライアルを見ていただいた岐阜FA指導者養成部の皆様、LogBook作成にあたり、間の学習にご協力頂きました県内外の大学、高校の各チームをはじめ、指導者の皆様、指導チームがなかった時期にトライアルに向けて、ご協力いただいた各チーム関係者の皆様、JFA主催スキルアップ研修会、並びに静岡県サッカー協会主催スキルアップ研修会の運営の皆様、講習会受講にあたり、快く送り出してくださった学校関係者の皆様にご場をお借りして、お礼申し上げます。ありがとうございました。



# 2025 年度 JFA コース報告書 JFA ユース B コーチ養成講習会



報告者：垣内 海斗  
日程：前期 2025年6月3日(火)～2025年6月7日(土)  
中期 2025年9月23日(火・祝)～2025年9月26日(金)  
後期 2025年12月9日(火)～2025年12月11日(木)

場所：大阪・J-GREEN 堺  
チューター：土橋 正樹 (JFA コーチ)  
白井 貞義 (JFA・U17 女子日本代表監督)

参加者：前期 23名 中期 23名 後期 23名  
補助選手：興国高校サッカー部 履正社高校サッカー部 JFA アカデミー堺



## 【学習目的】

U-11～U-15 年代の指導のリーダーとなる人材を養成と、所属地域での U-11～U-15 年代のゲーム・トレーニング環境を整備・充実させるための諸活動において、リーダー的立場に立って活動ができる人材を養成することを目的とする。  
(JFAHP より)

## 【学習目標】

前期	中期	後期
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テクニックの獲得・質の追求</li> <li>・プランニング</li> <li>反復回数/グルーピング</li> <li>・コーチング</li> <li>テンポ(強度)/シンクロとフリーズ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リレーションシップ</li> <li>・グループへの働きかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則の理解</li> <li>・3ゾーンでの判断基準</li> </ul>

## 【学習内容】

講義	実技・指導実践	試験・課題
前期		
フィジカル 栄養学・発育発達・心理学 JFA アカデミーの取り組み 代表監督講義 個別育成の重要性	指導実践①2人組(W-up/TR1) 指導実践②2人組(W-up/TR1) フィジカル コーチングデモ	<b>【事前課題】</b> ・指導案作成×6トピック ・JFA アカデミーの取り組みについて ・フィロソフィーの作成 ・プレーモデルの作成
中期		
適正の診断と育成・Talent ID 分析(基本戦術)・GKについて チームマネジメント セーフガーディング	指導実践③4人組(W-up～GAME) 指導実践④3人組(TR1/TR2)	<b>【間の学習】</b> ・Logbook(指導実践2トピック以上) ・プレーヤープロフィールの作成
後期		
医学 プレゼン実習	指導実践⑤4人組(W-up～GAME) 指導実践⑥個人(TR2/GAME) プレゼン実習	<b>【間の学習】</b> ・Logbook(指導実践2トピック以上) ・プレゼン資料作成

## 【実技トピック】

前期	中期	後期
①パス&コントロール ②チャレンジ&カバー ③相手陣での守備	④ビルドアップ ⑤自陣での守備 ⑥前線の崩し	③相手陣での守備 ④ビルドアップ ⑤自陣での守備 ⑥前線の崩し

## 【学びと課題】

本講習会では、常に「個」の育成に重点が置かれ、サッカーの全体像を持ちながら、個人やグループに働きかけることの重要性を学びました。また、この年代で選手が獲得すべきテクニックや基本戦術の徹底、サッカーの原理原則に基づいた指導の大切さを改めて実感しました。選手が何を考えてプレーしているのか、どこにつまずいているのか、目の前の選手に対する分析やプランニング、コーチングにおいて、どのようにアプローチし改善していくべきかを深く考えさせられました。さらに、個別育成や育成年代における怪我についての講義を通して、サッカー指導に限らず、幅広く学び続けることの大切さを感じました。

前期から後期にかけての講習会では、1種から4種まで全国から集まった受講生の方々と学び合うことができました。グループで行う指導実践では、プランニングから指導実践後の振り返りまで様々な意見交換を行い、指導に対する向き合い方や高い熱量に触れることで、大きな刺激を受けました。

今回の講習会で得た学びを今後さらに深め、より良い指導者となれるよう学び続けることを大切にしながら、私に関わる選手への還元と、岐阜県サッカー協会の発展に少しでも寄与できればと考えています。本講習会へ派遣していただいた岐阜県スポーツ協会並びに岐阜県サッカー協会の皆さまに、心より感謝申し上げます。

作成者：垣内 海斗  
報告日：2025年1月25日